

(4) 道路関係

静岡県東部・伊豆地域の発展を支える道路整備として、高規格幹線道路である伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路、天城北道路、河津下田道路(Ⅰ期)(Ⅱ期))及び国道1号、138号、246号の改築及び維持管理並びにそれらに関する調査を行います。

【平成29年度の主な事業内容】

■ポイント

- 国道414号天城北道路が平成30年度開通に向け最後のトンネル工事を完了予定
- 国道414号伊豆縦貫自動車道 天城湯ヶ島～河津の概略ルート・構造検討(計画段階評価を進めるための調査)を推進
- 国道414号河津下田道路(Ⅱ期)において、河津トンネル着手予定
- 国道246号長泉IC交差点改良が完了予定

◆伊豆縦貫自動車道

国道1号 東駿河湾環状道路

○大場・函南IC～函南IC(仮称)(延長1.9km)

－関係機関協議を推進

国道414号 天城北道路

○大平IC～天城湯ヶ島IC(仮称)(延長5.1km)

平成30年度 暫定2車線(一部完成2車線)開通予定

－改良工、橋梁上部工、トンネル工、舗装工、水文調査、関係機関協議を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅰ期)

○下田北IC(仮称)～下田IC(仮称)(延長5.7km)

－用地買収、用地調査、道路設計、環境調査、地質調査、関係機関協議を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅱ期)

○河津IC(仮称)～下田北IC(仮称)(延長6.8km)

－改良工、橋梁下部工、トンネル工事着手予定、用地買収、環境調査、水文調査、関係機関協議を推進

◆一般道路

国道1号 さきはらやまなか
笹原山中バイパス

○三島市山中新田 みしま やまなかしんでん (延長 1.6km)

平成 28 年 3 月 12 日 完成 2 車線開通

○三島市山中新田～三島市笹原新田 みしま やまなかしんでん みしま さきはらしんでん (延長 2.7km)

平成 30 年度 完成 2 車線開通予定

－改良工、橋梁下部工、事業損失補償、埋蔵文化財調査、関係機関協議を推進

国道1号 ひがしするがわん むまづおかのみや あしたか
東駿河湾環状道路 (沼津岡宮～愛鷹)

○沼津岡宮IC～愛鷹IC むまづおかのみや あしたか (仮称) (延長 2.6km)

－用地調査、道路設計、橋梁設計、地質調査、関係機関協議を推進

国道138号 すばしり
須走道路

○駿東郡小山町須走～御殿場市水土野 すんとう おやまちょうすばしり ごてんば みどの (延長 2.7km)

－改良工、橋梁下部工、事業損失補償、関係機関協議を推進

国道138号 ごてんば
御殿場バイパス (西区間)

○御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢 ごてんば みどの ごてんば さわ (延長 2.9km)

－改良工、橋梁下部工、用地買収、関係機関協議を推進

国道246号 すその
裾野バイパス

○駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野 すんとう おやまちょういきど すんとう おやまちょううえの (延長 4.4km)

－関係機関協議を推進

◆道路管理

静岡県東部地域の国道1号・138号・246号の3路線、約100kmを沼津国道維持出張所及び御殿場国道維持出張所で管理しています。

道路の維持管理

○道路パトロール、路面清掃、除草、植栽剪定、除雪作業などを行います。

道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの構築

- ・道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、標識、照明、情報板など)
- ・点検により見つかった不具合を次回の点検までに補修します。
- ・大型車通行適正化に向けた取り組みを行います。

道路の防災・震災対策

○東海地震などの大地震に備え、橋梁の耐震補強工事を推進します。

交通安全対策

○『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的かつ効果的に交通事故対策を推進します。

・国道246号^{ごてんばながいずみ}御殿場長泉地区事故対策

・国道246号^{おやまうえの}小山上野地区視距改良

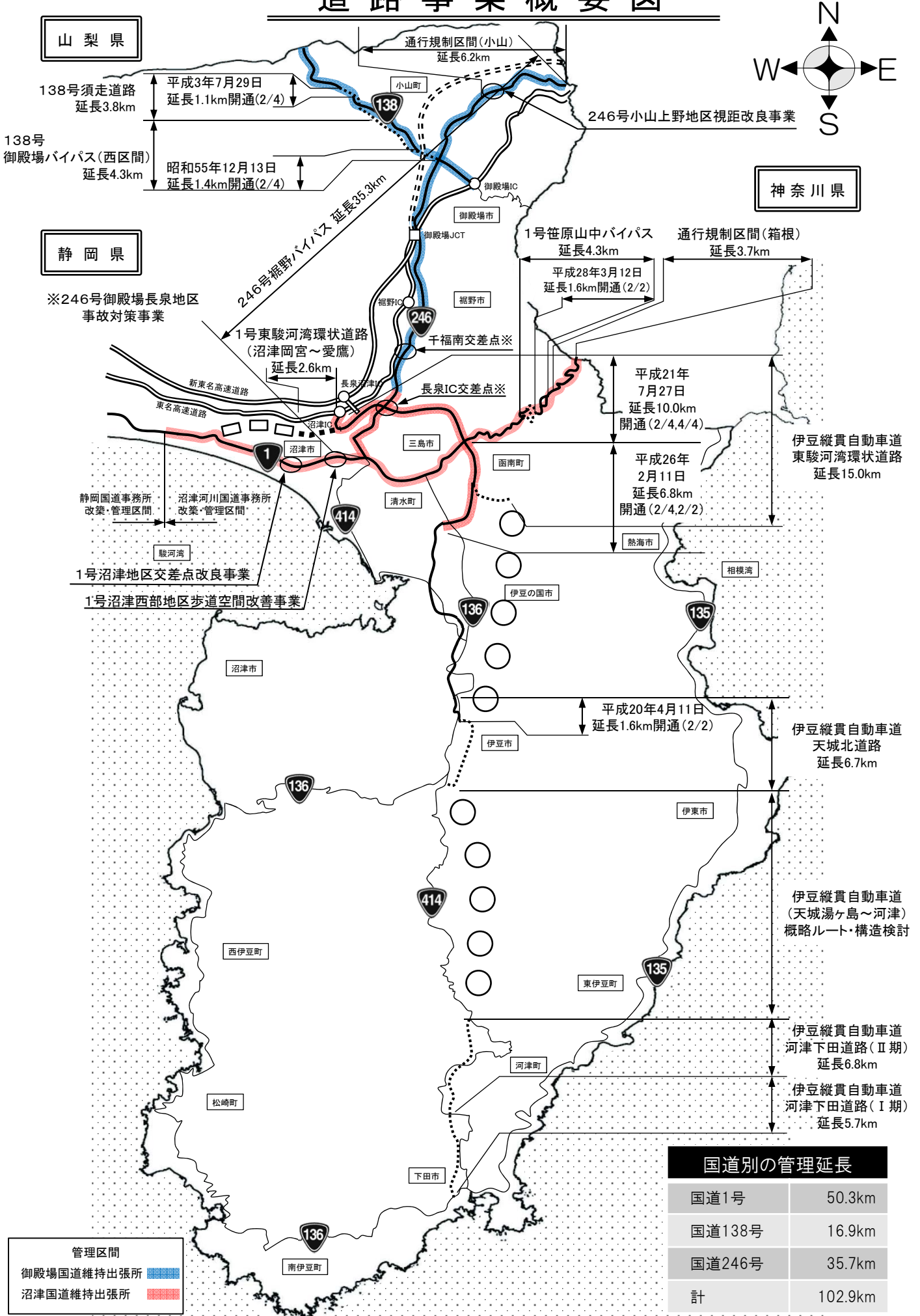
・国道1号^{ぬまつ}沼津地区交差点改良(平成29年度 新規事業着手)

○歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩道空間を確保します。

・^{ぬまつ}沼津西部地区歩道空間改善

○生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

道路事業概要図



国道別の管理延長

国道1号	50.3km
国道138号	16.9km
国道246号	35.7km
計	102.9km

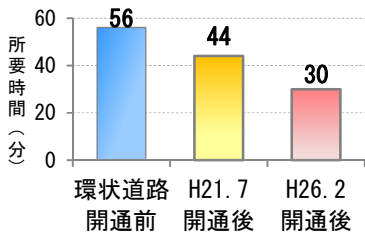
<整備効果>

■所要時間の短縮と渋滞緩和

東駿河湾環状道路が伊豆中央道・修繕寺道路に接続し、広域な道路ネットワークが形成され、東名高速道路 沼津 IC から天城北道路 大平 IC までの所要時間が短縮しました。

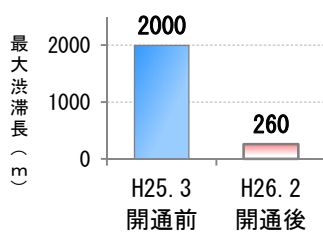
利用ルートが変わり、東駿河湾環状道路の内側にある南二日町交差点の渋滞長が大幅に減少しました。

○東名沼津 IC～天城北道路 大平 IC の所要時間



※所要時間算出方法
 ・環状道路開通前：H21 プローブデータ
 ・H21.7 開通後：H25.11.19 走行調査結果
 ・H26.2 開通後：H26.3.11 走行調査結果

○南二日町交差点の 開通前後の渋滞長



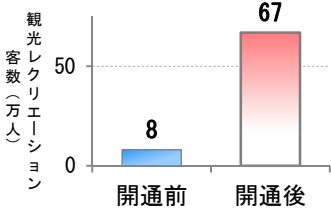
※渋滞長調査結果
 開通前：H25.3.2 6時～21時
 開通後：H26.3.1 6時～21時
 国道136号南側流入部



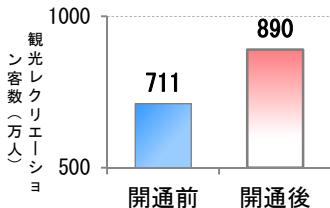
■観光交流客数の増加

東駿河湾環状道路周辺の主要観光施設への観光入込客数が増加し、開通区間周辺市町の観光来訪客数が増加しました。

○韮山反射炉



○三島市・伊豆の国市・函南町



※出典：静岡県主要観光施設入込客数と観光レクリエーション数
 開通前：H25年3月～H26年2月を集計
 開通後：H27年3月～H28年2月を集計

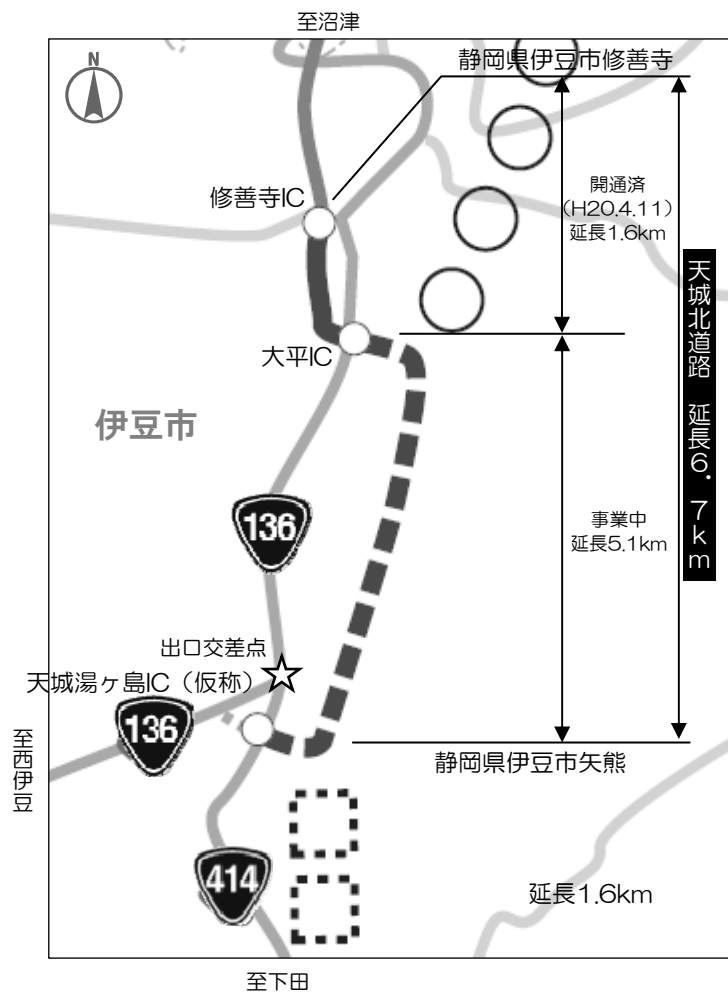


国道1号 東駿河湾環状道路の状況写真

国道414号 天城北道路

天城北道路は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、伊豆市修善寺を起点とし、伊豆市矢熊に至る延長6.7kmの自動車専用道路です。

国道136号、414号における交通渋滞の緩和、緊急輸送路の機能強化をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する天城北道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・平成20年4月11日 修善寺IC～大平IC (延長1.6km) 完成2車線開通

【平成29年度の主な事業内容】

○大平IC～天城湯ヶ島IC (仮称) (延長5.1km)

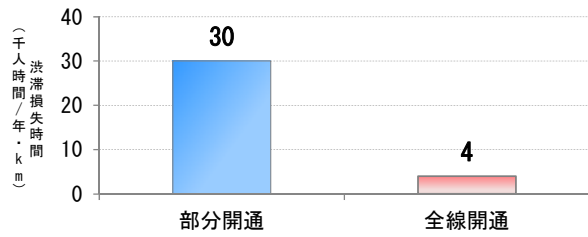
- ・平成30年度 暫定2車線 (一部完成2車線) 開通予定
一改良工、橋梁上部工、トンネル工、舗装工、水文調査、
関係機関協議を推進

<整備効果>

■渋滞の緩和

天城北道路の整備により交通が転換し、出口交差点の渋滞損失時間が9割削減されます。

○天城北道路整備による渋滞損失時間の削減効果

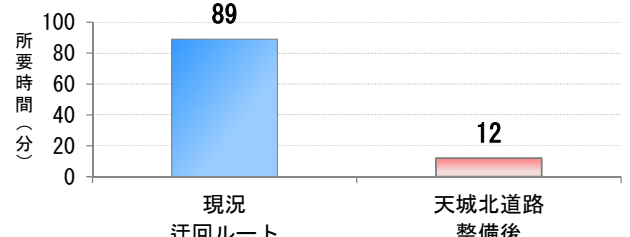


※出典：渋滞損失時間確定値（H22）、交通量推計データ

■緊急輸送道路の機能強化

災害により国道136号、414号が寸断されたとしても、天城北道路が緊急輸送路として機能し、リダンダンシーの高いネットワーク形成に寄与します。

○国道136号通行止め時の迂回時間の短縮効果



※時間算定方法：国道、迂回路：H22 センサス平日混雑時旅行速度



国道414号天城北道路（大平IC付近）の状況写真

国道414号 河津下田道路（I期）

河津下田道路（I期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、下田市箕作を起点とし、下田市六丁目に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

下田市街地における観光交通による交通混雑の緩和、交通事故の削減をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（I期）の整備を推進します。

【これまでの取組】

- ・平成25年11月13日～12月12日 都市計画案縦覧、環境影響評価準備書縦覧
- ・平成26年11月25日 都市計画決定
- ・平成27年2月21日 中心杭打ち式
- ・平成28年8月～9月 設計説明会の実施

【平成29年度の主な事業内容】

○下田北IC（仮称）～下田IC（仮称）（延長5.7km）

－用地買収、用地調査、道路設計、環境調査、地質調査、関係機関協議を推進



国道414号 河津下田道路（Ⅱ期）

河津下田道路（Ⅱ期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、河津町梨本を起点とし、下田市箕作に至る延長6.8kmの自動車専用道路です。

並行する国道の未改良区間の解消をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（Ⅱ期）の整備を推進します。

【これまでの取組】

- ・平成24年4月 新規事業化
- ・平成25年3月19日 看板除幕式（通過する場所に事業看板を設置）
- ・平成27年2月21日 起工式

【平成29年度の主な事業内容】

○河津IC（仮称）～下田北IC（仮称）（延長6.8km）

- －改良工、橋梁下部工、トンネル工事着手予定、用地買収、環境調査、水文調査、関係機関協議を推進

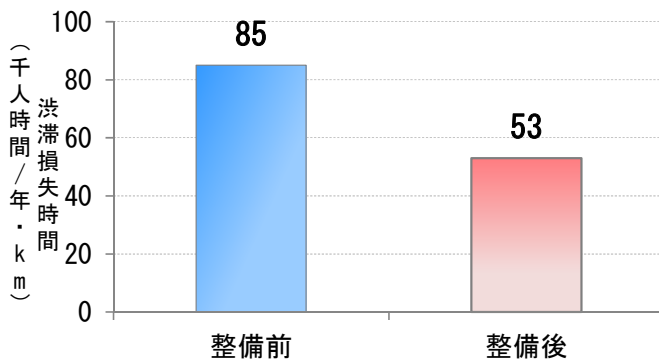


<整備効果>

■観光支援、渋滞の緩和

河津下田道路（Ⅱ期）の整備により、国道414号の未改良区間及び夏季大型車通行規制を回避でき、観光交通のスムーズな通行が可能になります。また、河津下田道路（Ⅰ期）の整備により、交通が転換し、中島橋交差点の渋滞損失時間が約4割削減されます。

○中島橋交差点の渋滞損失時間の変化



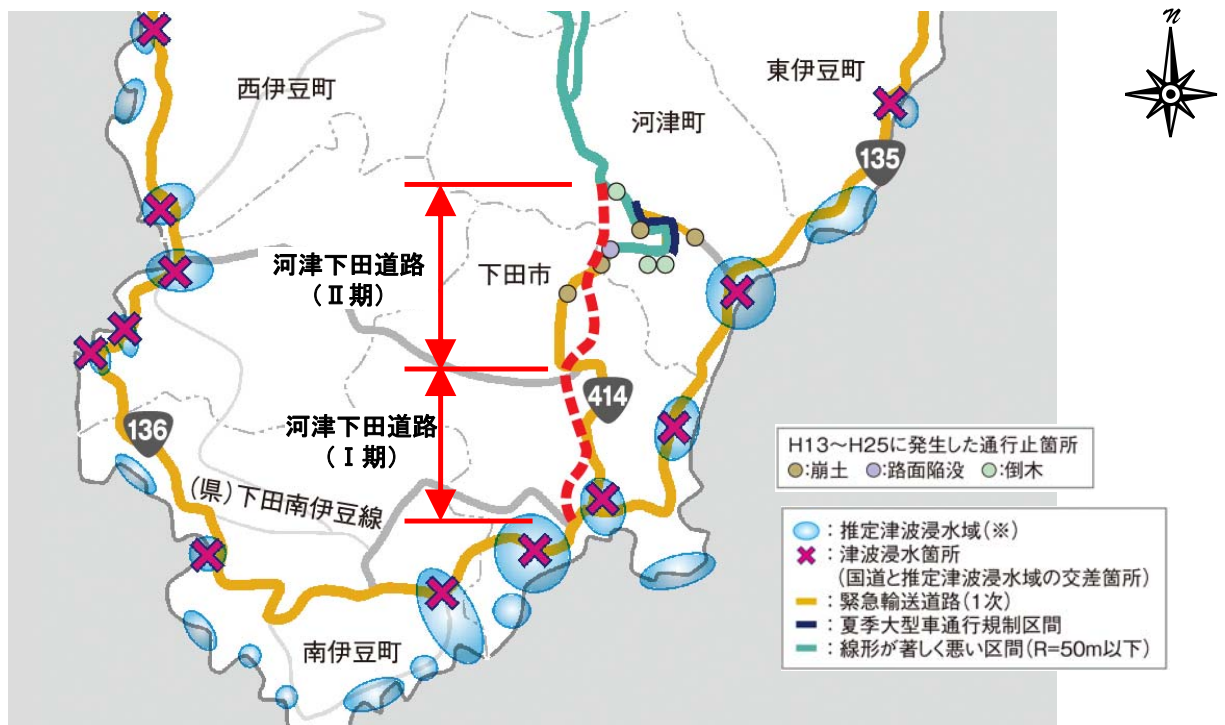
※出典：渋滞損失時間確定値（H22）、交通量推計データ



※H26.8.13調査結果

■緊急輸送道路の機能強化

南海トラフ巨大地震による津波浸水区域、線形不良区間や隘路を回避する第1次緊急輸送路を確保することで、災害時の安全性・信頼性が確保されます。



出典：南海トラフ巨大地震の被害想定（第二次報告）（H25.3）

■河津下田道路（Ⅰ期）

下田北 IC（仮称）付近



下田 IC（仮称）付近



■河津下田道路（Ⅱ期）

河津 IC（仮称）付近



逆川 IC（仮称）付近



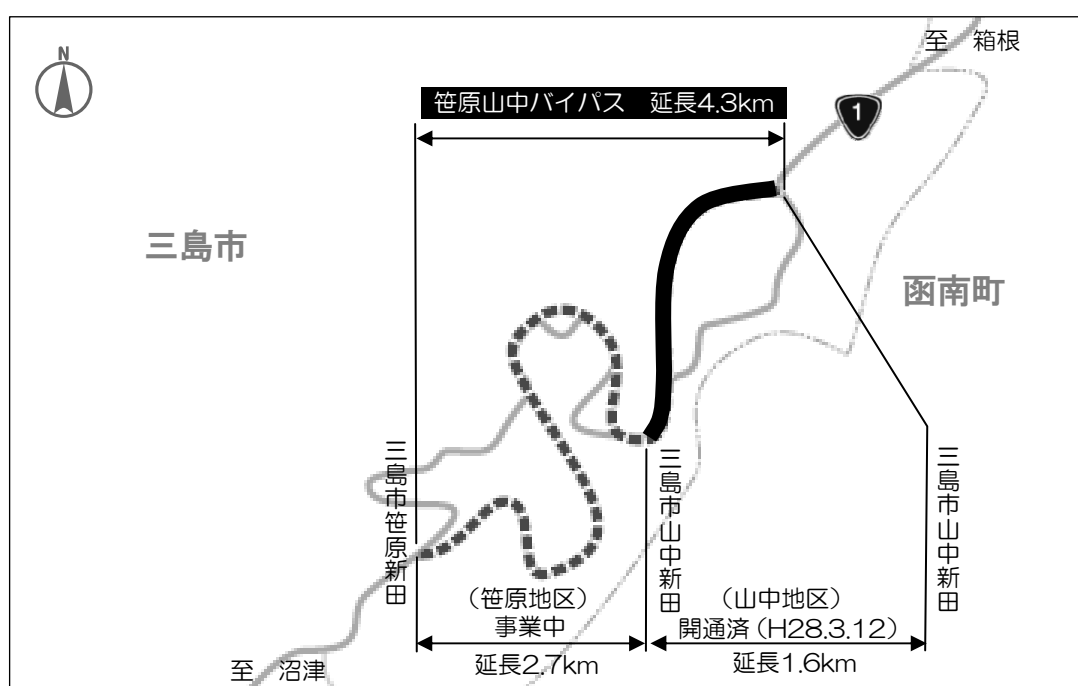
国道414号河津下田道路の状況写真

凡例	
.....	計画位置
==	橋梁部
（ ）	トンネル部

国道1号 笹原山中バイパス

笹原山中バイパスは、三島市山中新田を起点とし、同市笹原新田に至る延長4.3kmの道路です。

国道1号現道の幅員狭小、線形不良、急勾配区間をバイパスし、交通安全の確保を図るとともに、沿道環境を改善するため、笹原山中バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・平成28年3月12日 三島市山中新田（山中地区）（延長1.6km）完成2車線開通

【平成29年度の主な事業内容】

○三島市山中新田～三島市笹原新田（笹原地区）（延長2.7km）

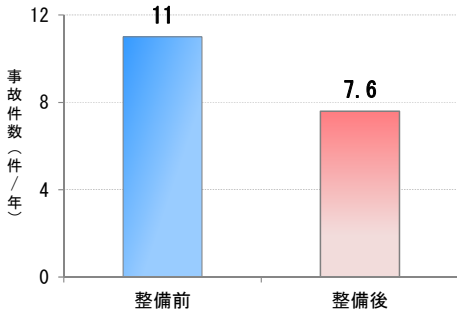
- ・平成30年度 完成2車線開通予定
 - －改良工、橋梁下部工、事業損失補償、埋蔵文化財調査、関係機関協議を推進

<整備効果>

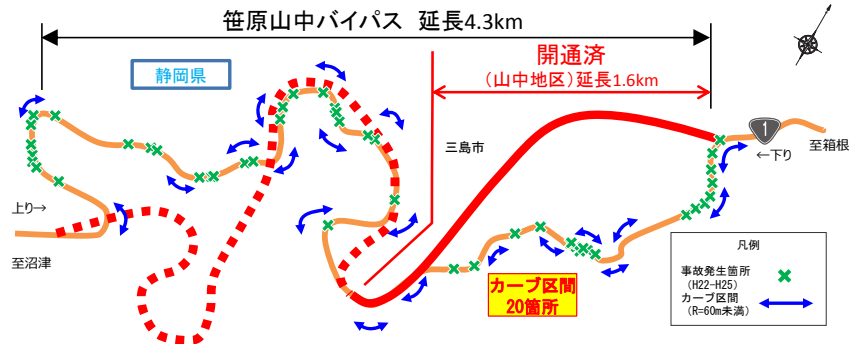
■交通事故の削減

笹原山中バイパスの整備により、走行環境が改善し、走行安全性が向上して交通事故件数が約3割減少します。

○開通前後の死傷事故件数の変化



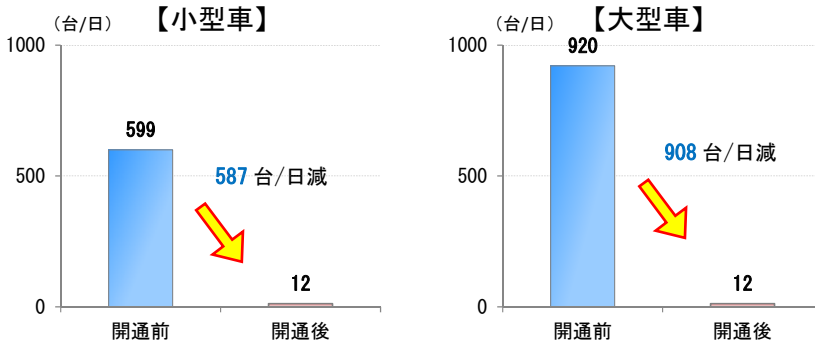
※整備前：交通事故統合データベース（H23～H26）
整備後：交通量推計を基に整備あり・なし事故件数の変化率より算出



■騒音の緩和

笹原山中バイパス（山中地区）開通後は、国道1号（現道）の夜間大型車交通量が大幅に減少しました。これにより、山中新田集落地内の騒音が減少し、沿道環境の改善が期待されます。

○山中地区開通後の国道1号（現道）の夜間交通量



※トラカンを交通量（速報値）、交通量調査結果
開通前：H28.3.8(22:00)～H28.3.9(6:00) 開通後：H28.3.15(22:00)～H28.3.16(6:00)



国道1号 笹原山中バイパスの状況写真

国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）

国道1号東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）は、沼津市岡宮を起点とし、同市東椎路に至る延長2.6kmの道路です。

伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路と一体となって沼津・三島都市圏の環状道路を形成し、現道1号等の慢性的な交通混雑の緩和及び南海トラフ巨大地震時における緊急輸送ネットワークの構築を図るため、東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・昭和62年10月 都市計画決定
- ・平成27年4月 新規事業化
- ・平成28年7月 中心杭打ちイベント

【平成29年度の主な事業内容】

○沼津岡宮IC～愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

－用地調査、道路設計、橋梁設計、地質調査、関係機関協議を推進

<整備効果>

■ 定時性・速達性の向上

沼津・三島都市圏を通過する国道1号の交通量が約3割減少するなど、都心部での慢性的な渋滞が緩和し、通勤等の定時性・速達性の向上が図られ、住民生活や円滑な企業活動を支援します。

■ 災害に強い緊急輸送ネットワークの構築

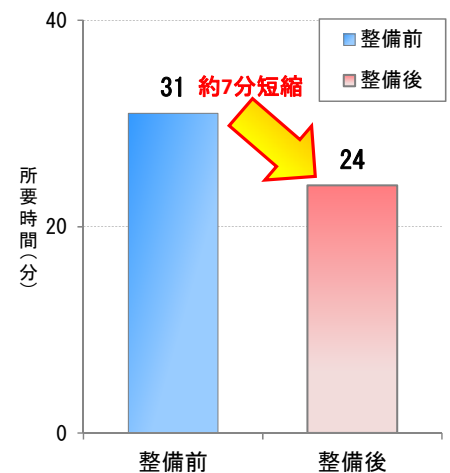
東名、新東名、東駿河湾環状道路が対象区間と有機的に連結されることで、第三次救急医療施設沼津市立病院へのアクセスルートを確認し、災害に強い緊急輸送ネットワークを構築されます。

○ 第三次救急医療施設までのアクセスルートの変化



○ 所要時間の短縮

(三島塚原交差点～沼津市立病院)



※出典 整備前：旅行速度 民間プローブデータ (H25.8)
整備後：交通量推計により、整備あり・なし時における平均旅行速度の変化率を求め、整備前に乗じて算定

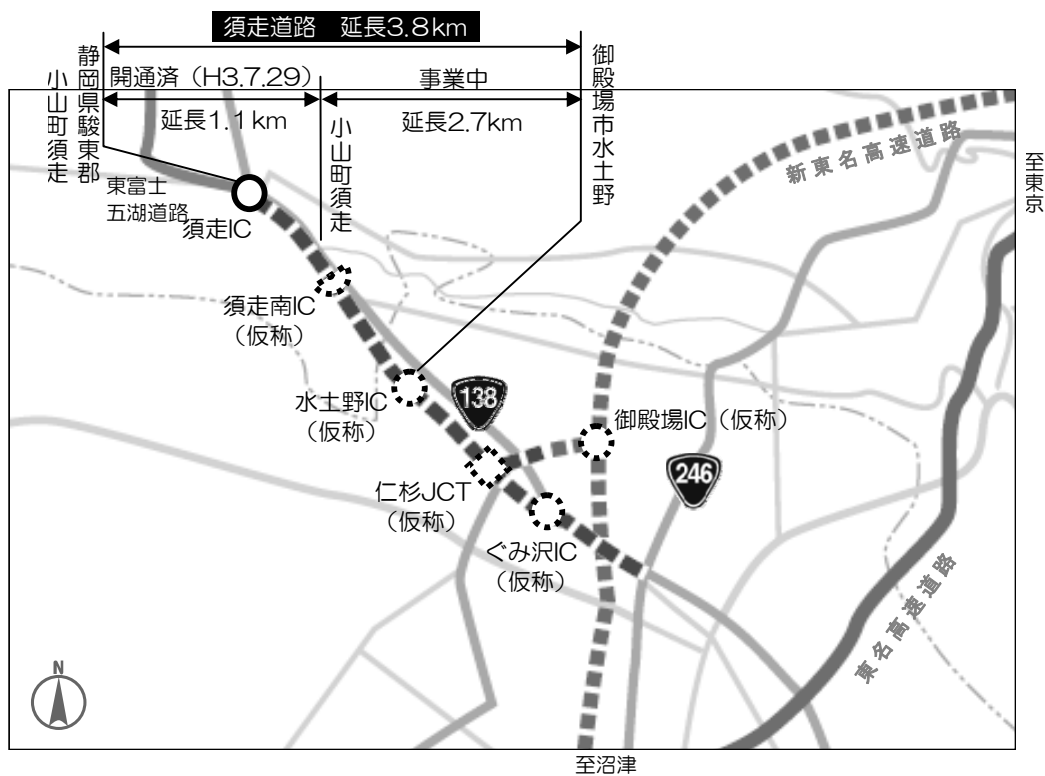


国道1号 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮 IC～愛鷹 IC (仮称)) の状況写真

国道138号 須走道路

須走道路は、駿東郡小山町須走を起点とし、御殿場市水土野に至る延長3.8kmの道路です。

御殿場バイパス及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、須走道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・平成3年7月29日 駿東郡小山町須走（延長1.1km）暫定2車線開通

【平成29年度の主な事業内容】

○駿東郡小山町須走～御殿場市水土野（延長2.7km）

- －改良工、橋梁下部工、事業損失補償、関係機関協議を推進

国道138号 御殿場バイパス（西区間）

御殿場バイパス（西区間）は御殿場市水土野を起点とし、同市萩原に至る延長4.3kmの道路です。

須走道路及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、御殿場バイパス（西区間）の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・昭和55年12月13日 御殿場市ぐみ沢～御殿場市萩原（延長1.4km）暫定2車線開通

【平成28年度の主な事業内容】

○御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢（延長2.9km）

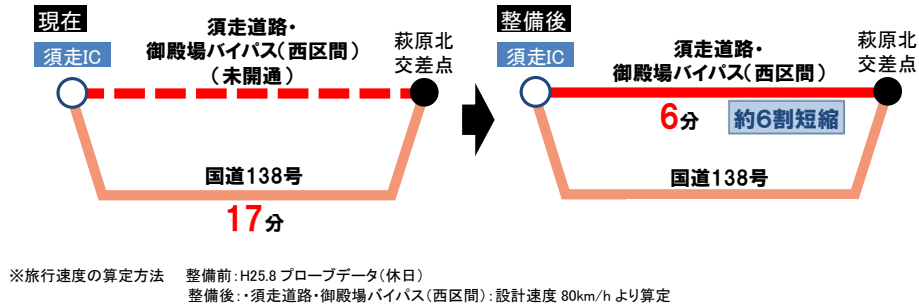
- －改良工、橋梁下部工、用地買収、関係機関協議を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

須走道路・御殿場バイパス（西区间）の整備により、並行する現道の国道138号の交通が転換し、顕著な課題となっている観光期（休日）における所要時間の短縮が図られます。

○須走道路・御殿場バイパス（西区间）開通後の所要時間の短縮

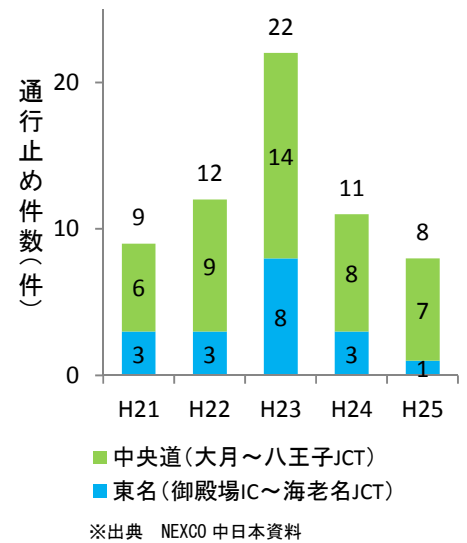
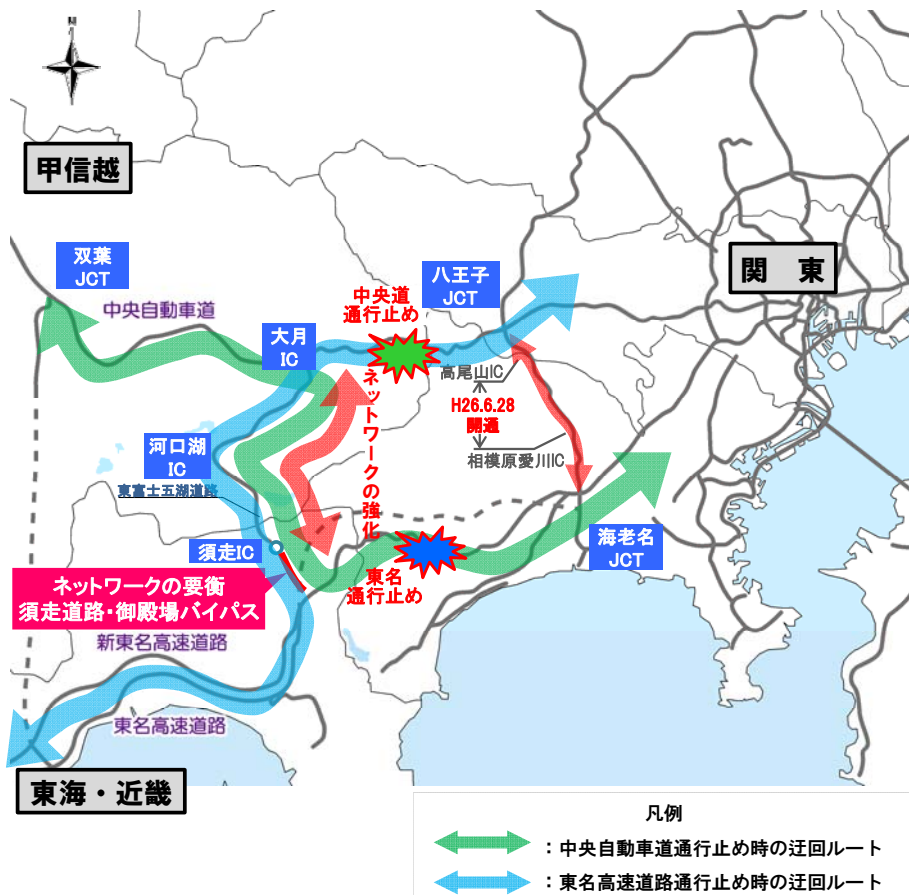


■災害に強い道路機能の強化

須走道路・御殿場バイパス（西区间）の一体整備により、自動車専用道路のネットワークが完成し、災害に強い道路機能が強化されます。

○東名・中央道の通行止め時にも
自動車専用道路ネットワークで迂回が可能

○高速道路の通行止め発生状況



■ 須走道路



凡例	
.....	計画位置
	橋梁部
	トンネル部

■ 御殿場バイパス (西区間)



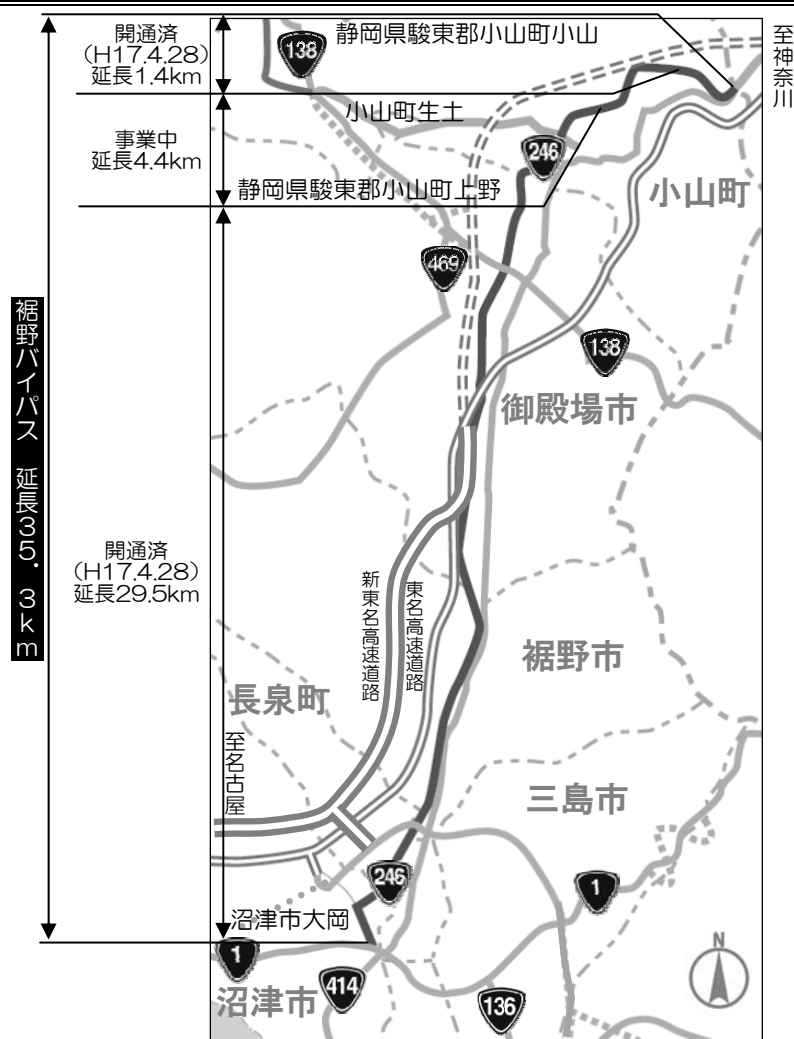
凡例	
.....	計画位置
	橋梁部
	トンネル部

国道138号 須走道路・御殿場バイパス(西区間)の状況写真

国道246号 裾野バイパス

裾野バイパスは、駿東郡小山町小山を起点とし、沼津市大岡に至る延長35.3kmの道路です。

裾野、御殿場及び小山市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、首都圏と静岡県東部地域を結ぶ幹線道路としての機能を確保するため、裾野バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

駿東郡小山町小山～駿東郡小山町生土（延長 1.4km） 完成 4車線開通

駿東郡小山町上野～沼津市大岡（延長 29.5km） 完成 4車線開通

- ・平成 25 年 3 月 27 日 中島（暫定）IC 開通

【平成 29 年度の主な事業内容】

○駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野（延長 4.4km）

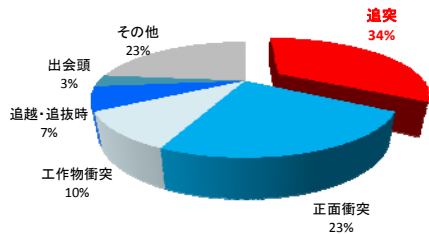
- －関係機関協議を推進

<整備効果>

■交通事故の削減

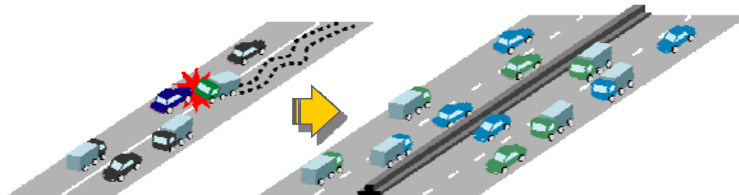
裾野バイパス 4 車線整備により、重大事故の危険性が高い正面衝突、追突事故の発生件数の減少が期待できます。

○裾野バイパス（2 車線区間）の事故発生状況



※出典 交通事故総合データベース (H23-26)

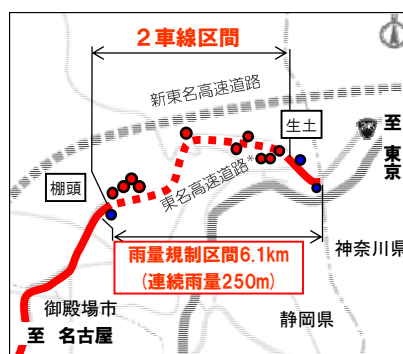
○裾野バイパス 4 車線整備による安全性の向上



■災害に強い道路機能の確保

裾野バイパス 4 車線整備と災害対策により、雨量規制区間を解消し、大動脈である東名高速道路の代替ルートとして相互補完し、東海～関東間を結ぶネットワークの信頼性が高まります。

○裾野バイパス整備による緊急輸送道路の機能強化



※出典 国土交通省資料



国道 246 号 裾野バイパス（中島 IC 付近）の状況写真

道路管理関係

■道路の維持管理

- ・ 日常の道路パトロールや路面清掃，除草，植栽剪定などにより、適切な道路の維持管理を目指し「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。
- ・ 冬期には大雪に備え、他の道路管理者や警察などと連携し、道路交通網の混乱を最小限に抑えるよう効率的な除雪作業を行います。

■道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの構築

- ・ 道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁，トンネル，函渠，横断歩道橋など)



橋梁点検車による点検



高所作業車によるトンネル点検

- ・ 点検により見つかった不具合を次回の点検までに補修します。

【橋梁補修事例】



補修前



補修後

- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議のなかで橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。



自治体向け橋梁点検研修(座学)



自治体向け橋梁点検研修(現地実習)

■道路の防災・震災対策

- 東海地震などに備え、橋の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するための緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

【橋梁の耐震補強実施事例】



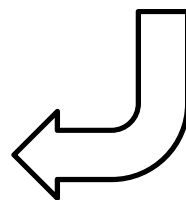
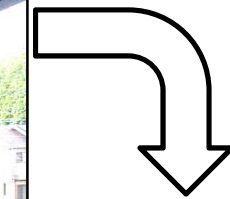
施工前



完成



施工中



交通安全関係

- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」に基づき、交通挙動分析や現地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めます。
- 歩行者や自転車が安心・安全に通行できる歩道空間を確保します。
- 生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

◆交通安全対策

【平成29年度の主な事業箇所】

- 御殿場市川島田～長泉町南一色 国道246号御殿場長泉地区事故対策事業
 - ・交通事故が多発している2箇所の交差点において、右折車線の改良や追突防止の注意喚起等により、交通事故の防止を図る。
 - －調査設計及び工事を実施
- 小山町上野 国道246号小山上野地区視距改良事業
 - ・安心で安全に通行できるように線形改良を実施し、交通事故の防止を図る。
 - －調査設計及び工事を実施
- 沼津市西椎路 国道1号沼津地区交差点改良事業
 - ・右折車線の延伸及びセパレートの見直しを実施し、交通事故の防止を図る。
 - －調査設計を実施
- 沼津市緑ヶ丘～西沢田 国道1号沼津西部地区歩道空間改善事業
 - ・横断歩道橋階段部の付け替えや部分的な歩道の拡幅により、歩行者や自転車が安心・安全に通行できる歩道空間の確保を行う。
 - －調査設計及び工事を実施

